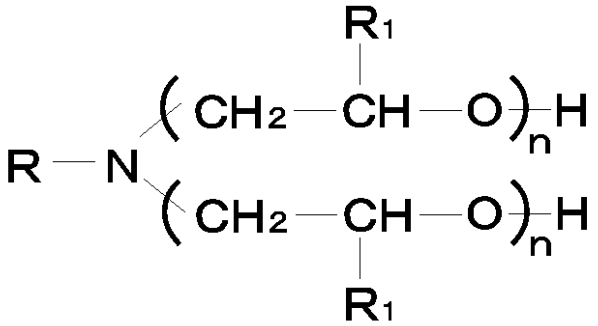
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公開番号】特開2010-83816(P2010-83816A)
【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)
【年通号数】公開・登録公報2010-015
【出願番号】特願2008-255543(P2008-255543)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/45　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/81　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/86　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/45
Ａ６１Ｋ　8/81
Ａ６１Ｋ　8/86
Ａ６１Ｑ　5/06

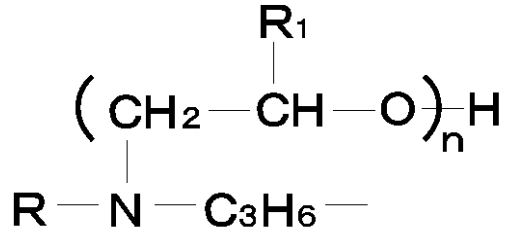
【手続補正書】
【提出日】平成23年2月21日(2011.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）水、（Ｂ）カルボキシル基含有皮膜形成ポリマーおよび（Ｃ）下記一般式（式１）で表されるアミンアルキレンオキサイド付加物からなる群より選ばれる少なくとも１種を含有してなる毛髪化粧料。
【化１】



（式１）

（式中、Ｒは、炭素数８～２０のアルキル基若しくはアルケニル基又は下記一般式（式２）を示す。$Ｒ_{1}$は、水素原子又はメチル基を示し、ｎは、１～２５の整数を示す。）

【化２】



（式２）

（式中、Ｒは、炭素数８～２０のアルキル基又はアルケニル基を示す。Ｒ$_1$は、水素原子又はメチル基を示し、ｎは、１～２５の整数を示す。）

【請求項２】

（Ｂ）成分を（Ｃ）成分により中和することを特徴とする請求項１記載の毛髪化粧料。

【請求項３】

更に、（Ｄ）多価アルコールを含有してなる請求項１又は２に記載の毛髪化粧料。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

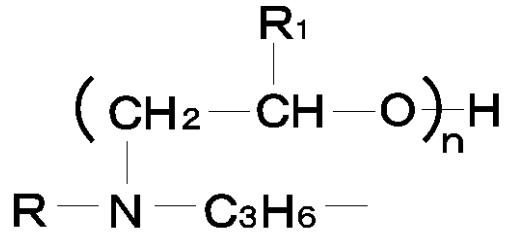
【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

【化３】



（式２）

（式中、Ｒは、炭素数８～２０のアルキル基又はアルケニル基を示す。Ｒ$_1$は、水素原子又はメチル基を示し、ｎは、１～２５の整数を示す。）

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

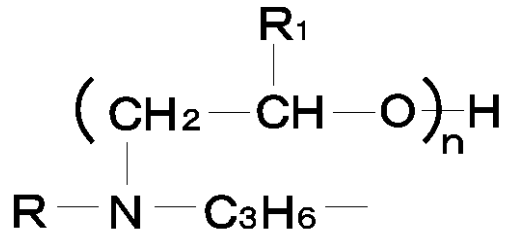
【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

【化４】



（式２）

（式中、Ｒは、炭素数８～２０のアルキル基又はアルケニル基を示す。Ｒ$_1$は、水素原子又はメチル基を示し、ｎは、１～２５の整数を示す。）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
上記の製造方法により得られうる具体的な（Ｃ）成分としては、例えば、ポリオキシエチレン（２）ヤシアルキルアミン、ポリオキシエチレン（１５）ヤシアルキルアミン、ポリオキシエチレン（２）オレイルアミン、ポリオキシエチレン（１０）オレイルアミン、ポリオキシエチレン（５）大豆アルキルアミン、ポリオキシエチレン（１５）大豆アルキルアミン、ポリオキシエチレン（２）牛脂アルキルアミン、ポリオキシエチレン（１５）牛脂アルキルアミン、ポリオキシエチレン（２）硬化牛脂アルキルアミン、ポリオキシエチレン（１０）硬化牛脂アルキルアミンなどのアミンエチレンオキサイド付加物；ポリオキシプロピレン（２）ポリオキシエチレン（２）ココアルキルアミン、ポリオキシプロピレン（４）ポリオキシエチレン（４）ココアルキルアミン、ポリオキシプロピレン（８）ポリオキシエチレン（８）ココアルキルアミンなどのアミンエチレンオキサイドプロピレンオキサイド付加物；Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－ポリオキシエチレン（３）－Ｎ－牛脂アルキル－１，３－ジアミノプロパン、Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－ポリオキシエチレン（１５）－Ｎ－牛脂アルキル－１，３－ジアミノプロパンなどのジアミンエチレンオキサイド付加物などを例示することができる。これら成分は、１種を単独で用いてもよく、２種以上を適宜組合せて用いることもできる。尚、上記括弧内は、アルキレンオキサイドの付加モル数を表す。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
（処方例３：ヘアスプレー）

（原液部）	
アクリル酸オクチルアミド・アクリル酸ヒドロキシプロピル・メタクリル酸ブチルアミノエチル共重合体	６．０
Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－ポリオキシエチレン－Ｎ－アルキル（Ｃ１４－Ｃ１８）－１，３－ジアミノプロパン	１０．０
グリセリン	２．０
精製水	１０．０
エタノール	残　部
合　計	１００．０
（噴射剤）	
ジメチルエーテル	１００．０
合　計	１００．０
原液部	６０．０
噴射剤	４０．０
合　計	１００．０